

はじめに

このたびはフォナック社製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。

キーパイロット2は小さく、操作が簡単な使いやすいリモコンです。補聴器を操作できることに加え、すべての機能に両耳同時にアクセスすることができ、常に両耳の聞こえがバランス良く調節され、より快適な環境下での聴き取りを可能にします。また、FMシステムを使用するデジタル耳かけ型補聴器と一緒に使用する場合、さらに拡張された機能へのアクセスを提供できます。

ご使用いただく前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。不明な点がございましたら弊社カスタマー・サービスまでお問合せください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管ください。
- ここに示した注意事項は、ご使用になる人や、他人への危害、財産への損傷を未然に防ぐための内容を記載しておりますので、必ずお守りください。
- 次の表示区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損傷の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「損傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

⚠危険	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパイロット2はペースメーカー等の医療機器から10cm以上離してご使用ください。また、ペースメーカーの挿込み手術をされている方は胸のポケットにキーパイロット2を入れないようにしてください。 ・分解、改造をしないでください。火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。 ・濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となりますので、使用場所や取り扱いに注意してください。 ・火の近くや、直射日光の強いところ、炎天下の車内など高温の場所で使用・放置をしないでください。機器の変形、故障、内蔵バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。
-----	--

⚠警告

- ・レントゲン撮影やCTスキャン等の画像診断機器はキーパイロット2に悪影響を及ぼします。これらの撮影を受ける前にキーパイロット2を身体から離し、撮影室の外に置くことを強くお勧めします。また、MRIスキャンは強い磁気を用いるので、MRI室に入る前には必ず身体から外してください。
- ・航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、キーパイロット2のご使用をお控えください。電子機器や医療用電気機器に影響を与える場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

⚠注意

- ・キーパイロット2を分解すると故障の原因となります。何かご不明な点がございましたら、絶対に分解せずお求め頂きました販売店にご相談ください。

本体および付属品

- ・ キーパイロット2（本体）
- ・ ハードケース

各部の名称



- ① ハードケース
- ② LED（確認ランプ）
- ③ プログラム選択ボタン
- ④ 音量調節ボタン（上げる）
- ⑤ 音量調節ボタン（下げる）

補聴器を操作する

1. キーパイロット2の電源

- ・ キーパイロット2の電源のオン・オフスイッチはありません。ボタンを押せば、いつでも使用できるようになっております。
- ・ 十分に内蔵バッテリーの残量がある場合は、ボタンを押すたびにLED（図の②）が点滅します。
- ・ 誤作動防止のため長い間キーパイロット2を使用しない場合は、ハードケース（図の①）の中に閉まってください。



2. 操作範囲

- ・ キーパイロット2の操作範囲は50cm程度です。
- ・ キーパイロット2で補聴器を操作する場合、上の図のように手にリモコンを持って操作する方法が効果的です。補聴器の方にリモコンを向ける必要はありませんが、リモコンを逆にしたり、補聴器に近づけすぎるとリモコンがうまく動作しないことがあります。
- ・ コンピュータ端末や強い電磁場の近くでは、操作距離が短くなることがあります。この場合は、それらの機器から60cm以上離す必要があります。

3. 両耳の補聴器を操作

- ・ キーパイロット2は、両耳の補聴器を同時に簡単に操作できるように設計されています。

4. 補聴器の音量を上げる、または下げる

- 1) 音量を上げるには、上向きの音量調節ボタン（図の④）を押します。
- 2) 音量を下げるには、下向きの音量調節ボタン（図の⑤）を押します。

- ・ LEDが点滅する毎に音量を変える指示が補聴器に送られ、ピープ音が聞こえます。さらにボタンを押し続けると、音量は最大まで上がり続け、または最小まで下がり続けます。
- ・ 最大音量または最小音量に達したときに、ピープ音が2回鳴ります。なお、音量はプログラムごとに変更できます。

5. プログラムの使用

- キーパイロット2の真ん中のボタン(図の③)を押すことによりあらかじめお客様専用で設定したプログラムに切り替えることができます。
- 販売店にて、マニュアルプログラムが補聴器に設定されている場合は、ボタンを押す毎に補聴器から切り替わりのお知らせ音が聞こえ、プログラムが切り替わります。マニュアルプログラムは、最大で3つまで設定することができます。

<注意>

プログラムの切り替わり方については、下記をご参照ください。なお、下記の「→」印はキーパイロットのボタンを押していることを意味します。()内は、切り替わる場合のお知らせ音です。

オートプログラム以外にプログラムが3つ設定されている場合：
オートプログラム→プログラム1(ビッ)→プログラム2(ビビッ)→プログラム3(ビビビッ)→メロディーが流れオートプログラムに戻ります

オートプログラム以外にプログラムが2つ設定されている場合：
オートプログラム→プログラム1(ビッ)→プログラム2(ビビッ)→プログラム2(お知らせ音なし)→メロディーが流れオートプログラムに戻ります

オートプログラム以外にプログラムが1つ設定されている場合：
オートプログラム→プログラム1(ビッ)→プログラム1(お知らせ音なし)→プログラム1(お知らせ音なし)→メロディーが流れオートプログラムに戻ります

オートプログラムのみ設定されている場合：
オートプログラム→オートプログラム(お知らせ音なし)→オートプログラム(お知らせ音なし)→オートプログラム(お知らせ音なし)→メロディーが流れますがオートプログラムのままです

• プログラム1

• プログラム2

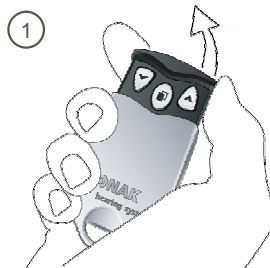
• プログラム3

お手入れ方法

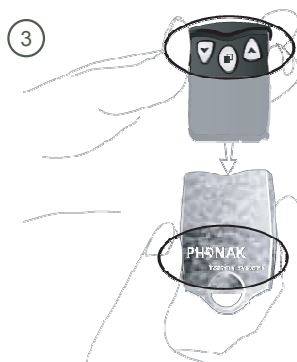
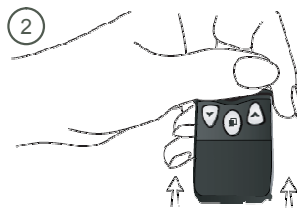
- キーパイロット2を長くお使いいただくために、日頃からのお手入れやお買い求めの販売店で定期点検をお勧めします。
- キーパイロット2は、ティッシュペーパーや柔らかい布で汚れを拭き取ってください。家庭用洗剤(石鹸、洗剤粉等)や溶剤等の薬品は絶対に使用しないでください。

ハードケースの交換方法

- キーパイロット2にはお好みに合わせて選べる2種類のハードケースをご用意しています。交換方法は以下の通りです。



- I. ボタン部分を引き出し、図①のように左側に押さえながら真上に引き抜きます。(図②)



- II. 表裏の向きに注意し、もう一方のハードケースに差し込みます。(図③)その後数回上下させてスムーズに収まることを確認してください。

品質保証期間とアフターサービス

- キーパイロット2の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ年月日」等が記載されていることを確認の上、大切に保管してください。
- キーパイロット2の内蔵バッテリーの電池交換は有償となります。電池交換希望の際は、販売店までお問い合わせください。
- お客様による誤った使用、過失、改造による故障の場合、有償修理となりますのでご了承ください。
- 故障の原因をお調べする際、キーパイロット2と補聴器の両方が必要となりますので販売店に必ずお持ちください。
- 保証期間内の修理の際には、保証書が必要となります。
- 保証期間が過ぎたときは、ご要望より有償修理いたします。
- この製品は、付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Memo

販売店

製造販売業
フォナック・ジャパン株式会社

〒141-0031
東京都品川区西五反田5-2-4
レキシントン・プラザ西五反田
TEL: 0120-06-4079 (お客様相談窓口)
FAX: 0120-23-4080
www.phonak.jp

PHONAK
フォナック

life is on